

令和2年度に向けた取組の方向性について

○令和元年度 秋田県中小企業振興委員会 テーマ

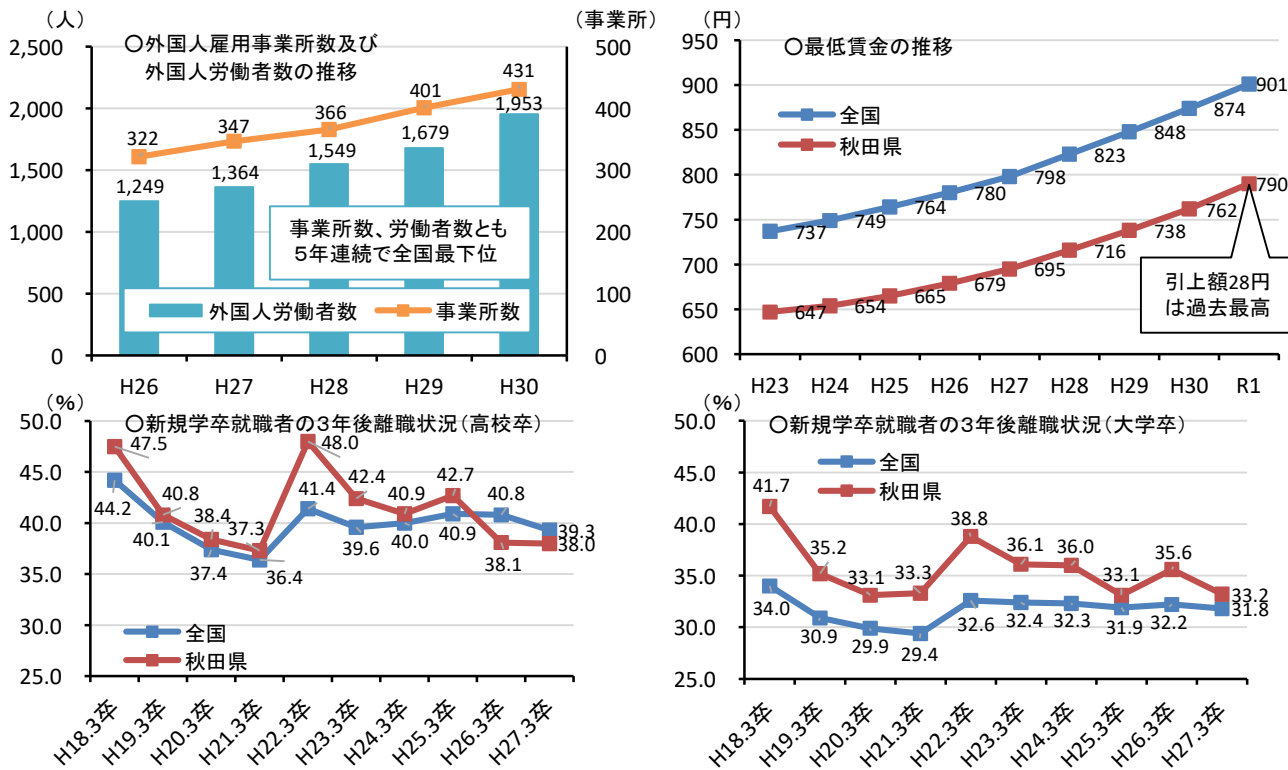
①多様な人材が活躍する中小企業の振興に向けた施策について

【テーマ設定の背景】

有効求人倍率が高水準で推移し、本県においても、平成27年度以降、1963年の統計開始以来の過去最高を更新し続け、多くの業種で人手不足が続いている。新規高卒者の県内求人倍率の上昇、外国人労働者の増加や最低賃金の上昇等、中小企業を取り巻く状況は大きく変化し、新規学卒者の3年後離職率も、微減傾向にある。

平成29年の製造品出荷額等や製造品付加価値額の伸び率が東北で最高となり、現金給与総額の伸び率も東北で最高の7%(平成30年は東北3位、毎月勤労統計調査(地方調査))となるなど、県経済が上向していることを示す指標もあるが、米中貿易摩擦の影響も現れてきている。

こうした状況の変化に対応していくためにも、先進技術を導入し、経営力の向上、競争力の強化をさらに進めていくことが求められている。



②未来への「投資」につながる施策について

【令和2年度秋田県重点施策推進方針趣旨】

本県は、付加価値生産性の高い業種が少ないことから、雇用者の給与等も全国下位に位置し、部品や一次産品を県外に移出して完成品や食料品、エネルギーを県外から移入するなど、所得が県外に流出する経済構造となっている。

こうした状況は、高い賃金や魅力的な職種を求める若年層の県外流出等の一因となっていることから、来年度は未来への「投資」となる施策を重点的に推進する。

○施策別の取組のポイント(案)

県内中小企業を取り巻く環境や社会経済情勢の変化を踏まえて、次のポイントに重点的に取り組むことが必要と考えます。

基本的施策	重点ポイント
①経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の現場との「接点」を太くして耳を傾ける伴走型の支援 ○積極的な技術指導や共同研究による商品開発等の支援 ○事業承継の意識の醸成と後継者の育成・マッチング ○事業承継支援と創業支援の連携 ○県及び中小企業支援機関の連携強化による相談機能の向上
②新たな市場の開拓等	<ul style="list-style-type: none"> ○小規模企業者の意欲的な取組に対する支援の強化 ○洋上風力発電施設のメンテナンスへの参入促進 ○「秋田県次世代ヘルスケア産業協議会」によるヘルスケア産業の振興 ○欧米等の有望市場に向けた販路開拓への支援 ○新規市場開拓につながる先導的な研究開発の実施
③企業競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○IoT、AI、ロボット技術等の先進技術の利活用促進 ○産学官連携による新技術の研究・開発 ○異分野・異業種間の産官共同研究の促進 ○食品製造現場等における生産性向上への支援
④新たな事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ○大学や県内企業等と連携した起業・創業の推進 ○ワンストップ起業相談窓口「秋田県よろず支援拠点」の周知 ○事業承継支援と創業支援の連携【再掲】
⑤地域の特性に応じた事業活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域課題の解決に向けたICTの活用促進 ○地域の資源やニーズを活用した新商品・新サービスの開発促進 ○伝統的工芸品等の新商品開発と販路拡大に対する支援 ○個店の魅力向上と空き店舗解消等による商店街の活性化
⑥人材の育成及び確保	<ul style="list-style-type: none"> ○「働き方改革」推進の取組に対する支援 ○企業の人材確保に向けた取組に対する支援 ○企業の成長戦略を実現できるプロフェッショナル人材の活用支援 ○若者の早期離職の予防と県内定着の促進 ○第二新卒者など若者に向けた企業の魅力発信力の強化 ○若者の県内定着に向けた県内ICT企業と学生等の相互理解の促進 ○女性や高齢者、障害者等が働きやすい環境の整備 ○外国人労働者の受入れ環境の整備 ○県内企業における健康経営の普及啓発